

平成 25 年 12 月 10 日

不動産鑑定士制度推進議員連盟設立趣意書

不動産の鑑定評価に関する法律が施行されて以来、本年で半世紀を迎えました。この間、不動産鑑定評価制度は、不動産の適切な利用と適正な価格の形成をとおして、国民生活の安定向上と国民経済の健全な発展に貢献してまいりました。

また、平成元年に土地基本法が制定されて以来、土地についての基本理念にのっとり、適正な地価の形成及び課税の適正化に資するために、相続税課税の基礎となる路線価の評定及び固定資産税課税の基礎となる価格の評定において、地価公示価格等と相互の均衡と適正化を図り、税負担の公平の確保に資するうえで、鑑定評価制度が中心的な役割を担っています。さらに、バブル経済の崩壊によって大量に発生した不良債権処理と金融機関の健全化、J-REIT などの不動産投資市場の創設と育成において、積極的に役割を担ってきました。

今後、国家の成長戦略のもと、都市の再開発、不動産市場の活性化、一次・二次産業の活性化、地域経済の再生などの促進が期待されています。このような大きな社会的、経済的な変革期においても、不動産鑑定評価制度は不動産市場の基盤を支え、持続的な経済成長を実現するための社会インフラとして、益々重要な役割を担うことが期待されています。

このような状況に鑑み、不動産鑑定評価制度を我が国の成長戦略を支える制度インフラとして更に発展させ、必要な法整備や法改正等の措置を講じ、なお一層の国民生活の安定と繁栄に資し、不動産鑑定士の役割と使命及び制度の推進を図るため、不動産鑑定士制度推進議員連盟を設立するものであります。

つきましては、本会の趣旨にご賛同賜りご参加いただきますようお願い申し上げます。

世話人（敬称略・順不同）

衆議院：うえの賢一郎（滋賀 2 区）、大塚高司（近畿比例・大阪）、
金子一義（岐阜 2 区）、金子恭之（熊本 5 区）、
小林茂樹（近畿比例・奈良）、保岡興治（鹿児島 1 区）、
山下貴司（岡山 2 区）、山本幸三（福岡 10 区）

参議院：松山政司（福岡県）